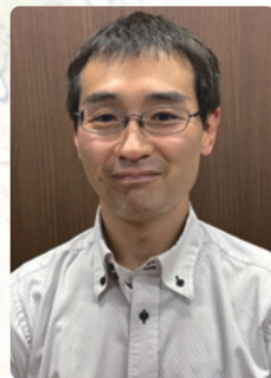


日中経済交流研究会新聞

日中経済交流研究会 2025年5月訪問インタビュー
税理士で国際税務・外国法人支援に挑戦

～日中経済交流研究会を楽しもう～

開催日：5月12日（月）

報告者：税理士法人ガルベラ・パートナーズ 代表社員（税理士） 相原 進矢氏
（大阪北ブロック／吹田支部）

会社概要

所在地：大阪市西区立売堀1-2-12 本町平成ビル3階 / 設立：2007年1月4日

事業内容：税務顧問、記帳代行、事業承継、組織再編・相続対策、国際税務・外国法人支援、社会福祉法人・医療法人の税務支援

会社概要

ガルベラ・パートナーズは、東京事務所、大阪事務所、福岡事務所からなり、税理士4人を含めた約20名の税理士法人です。顧問先は、大阪事務所だけで約120社あり、年1回の確定申告（決算）の会社などを含めると180社程度の得意先があります。また、年末調整業務も100件程度あります。その他に業務内容は、税務顧問、記帳代行、事業承継、組織再編・相続対策、国際税務・外国人支援ほかを行っています。

事業承継では、財産権をどうするか、自社株についてできるだけ税負担を抑えて承継することがポイントとなります。納税猶予制度を用いたり（贈与税や相続税をからなくする）、会社合併・会社分割を行ったりして最善の事業承継を提案しています。昨今の事業承継の割合は、M&Aが約30%、同族承継が30～50%、社員承継が約20%～30%となっています。組織再編・相続対策では、赤字会社と合併させ繰越欠損金の有効利用をしたうえで、結果株価を下げる、あるいは後継者が2名いる場合やM&Aのために会社を2社に分割したり、さらにはホールディングカンパニーを設立するといった組織再編・相続対策を行っています。

また、国際税務・外国法人支援では、日本の企業が海外へいく場合（海外法人設立）またはその逆の場合に対しての支援を行っています。海外法人設立の支援は、中国・台湾・アメリカ・ベトナム・タイといった国が多いです。その逆の場合は、さまざまな国の方からの相談が多いですが、最近は中国人のお客様が多いです。

税理士にチャレンジ、現況と将来

相原さんは、大学時代は柔道一色の体育会系でした。25年前に父親が他界された時はまだ大学生でしたが、役所での相続関係の手続き、また、税金の仕組みや遺産分割手続きは言うまでもなく、さらには登記という意味すらよくわかっていませんでした。このことがきっかけで税務に興味を持つようになり、大学卒業後は柔道から資格取得勉強に切り替えて、税理士事務所と公認会計士事務所の勤務を経て、税理士の資格を取りました。

2010年にガルベラ・パートナーズ大阪事務所の所長として入所後は、上述の業務に従事しています。7年前の39歳の時に福岡事務所を立ち上げました。体育会系であったためか、新規営業は得意ですが、これ以上得意先をむやみに増やさず、今後

は社内を充実させてよい人材を確保するために、質の高い仕事をすることをモットーに、事業承継、組織再編、国際税務に注力していこうと考えています。税理士業界も他の業種同様に人材の確保が難しく、ガルベラ・パートナーズでも、クライアントは増えても人の確保が厳しい状況です。大阪事業所では約3人の方が業務を行いながら税理士をめざしています。今後、質の高い仕事をしていくことが、よい人材確保につながると考えています。

同友会と日中経済交流研究会

相原さんは、司法書士の方に誘われて2013年に同友会へ入会し、吹田支部の例会に顔を出す程度からしばらくして吹田支部幹事も務めていました。そして、自身の可能性をさらに広げるため、日中経済交流研究会にも入りました。訪中国にも何回か参加しましたが、ここ数年は訪中国がないことが残念とのこと。仕事の中に国際税務・外国法人支援があることと、そのお客様の多くが中国人の方であることから、日中経済交流研究会での活動は有意義とのこと。自分で中国へ行って、生の中国を見ているから、中国人のお客様とも話が弾み、仕事に面白みが出てきます。今年はぜひ訪中国に行きたいそうです。

また、相原さんには15年来持っている夢があります。中国語でもよいですが、語学をマスターして海外で仕事をする事です。この夢はなかなか実行に移せないのも、何とか実行したいと考えています。

感想

おだやかに見える相原さんですが、今回のインタビューで、実は芯が大変強く、考えがしっかりしている方だと思いました。2016年に一緒に訪中国に行きました。その時はインタビューのような真面目な話をしなかったからかもしれませんが、相原さんの違う一面を知りました。

インタビュー後は、日中経済交流研究会インタビューということで中華料理屋に足を運び、会社の税務に関わる話（保険ほか）をしたことが大変有意義でした。相原さんのますますのご活躍とご健康をお祈りします。



文：日中経済交流研究会 広報委員会
オーツケミカル(株)代表取締役 合田研吾